



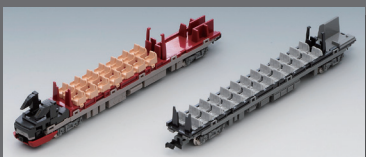
6両セット



●先頭車はエッジラインが際立つ、独特な前頭部形状をリアルに再現し、前面窓下に配された横2列に並ぶLEDヘッドライトは、その輝点をプリズムにより細密に再現、点灯には白色LEDを使用しています。また、前面窓上部の両脇に配された種別灯・テールライトは、カラープリズムにより前頭側が黄色で、後尾側が赤色で点灯します。なお、前頭部のカブラーはタミイタイプを装着し、側窓はスモークガラスを再現しています。



●新規製作のPT7126-A形シングルアームパンタグラフは、上昇時、折り畳み時の形状をさらに追求し、加えて、実物通りにパンタグラフ本体と台座の色を造っています。また、パンタグラフ付属機器のヒューズボックスと避雷器、一体型カーバーに覆われたクーラーは、細部まで再現した別部品を取り付け、実感的な屋根根回りとしています。



●先頭車「プレミアム車両」、中間車「レギュラー車両」の室内シートは、「バックシェル」を始めとした形状を可能な限り模し、「プレミアム車両」はベージュ系カラーの、「レギュラー車両」はブルーグレー系カラーの別部品を用いて、床カーペットとの色の違いを再現しています。

「くつろぎのアップグレード」を車両コンセプトにして、近鉄伝統の名阪特急に投入された80000系「ひのとり」。メタリックレッドの塗装をまとった同系は、先進性とスピード感を表現したエッジラインが印象的な車体フォルムとなっています。「プレミアム車両」とされたハイデッカー構造の先頭車は、本革を使用した電動リクライニングの3列シートを装備、我が国で最大級のシートピッチを確保し、また「レギュラー車両」とされた中間車は、床面がフラット構造の4列シートながら、シートピッチが同鉄道の特急一般座席で最大幅となりました。加えて、いずれのシートも後席を気づかうことなく背もたれが倒せるよう、「バックシェル」と呼ばれる覆いをリクライニングシート背面に取り付けるなど、快適な車内空間を目指して、他にもさまざまな設備を備えています。80000系「ひのとり」は、本年3月より6両編成3本が運転を開始、2021年3月までに6両編成8本、8両編成3本が出揃い、名阪特急のみならず、一部の大阪難波-近鉄奈良間の特急にも運用されています。

トミックスでは近鉄特急最新の「80000系(ひのとり)」の6両編成を新たに製品化、特徴的な車体フォルムと深い艶感のある「ひのとりレッド」の車体塗装を実感的に再現し、斬新な実車同様、新しい工夫を施した魅力的なアイテムに仕上げています。モデルは動力車に新モーター使用のフライホイール付き動力ユニットを、各車に確実な集電を可能にした新集電システムを採用し、軽快かつ安定した走り、ライト類の点灯が楽しめいただけます。なお、先頭車側面の「HINOTORI」のシンボルマークと、客ドア上の「プレミアムシート」のロゴマークは印刷済みとし(写真は一部未印刷)、車体番号の転写シートを付属します。

80000系

近畿日本鉄道(ひのとり)

■ 近畿日本鉄道
80000系(ひのとり・6両編成) セット(6両)
<98695> 予価¥20,400(税抜)

近畿日本鉄道(株) 商品化許諾申請中 **12月発売予定**